

児童虐待防止対策のさらなる強化について意見書を提出しました！

なくならない児童虐待を受け、6月の議会でも虐待の発生防止・早期発見に向けた対策について議論が行われました。国に対しては、立憲民主党の県議会議員を含む超党派の議員により「児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書（案）」を提出することを決定しました。

児童虐待防止対策の強化を図るため、

- 1 しつけのための体罰は要らないという認識を社会全体で共有できるよう周知・啓発に努める
- 2 スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政支援を行う
- 3 警察署の体制を充実させるための増員を行う
- 4 虐待防止のための情報共有システムの構築
- 5 児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所との連携を強化し、親子を守る体制強化を進め、日本版ネウボラの設置推進を図る（発議案第11号より抜粋）

上記5点を盛り込んだ意見書を提出し、さらなる虐待防止のために取り組みます。



女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求めました

第4次「千葉県DV防止・被害者支援基本計画」が今年度で中間年を迎えます。目標達成に向け現時点までの取り組みの状況を確認しました。また、民間団体との連携・協議に向け、どのような取り組みを行っているのか質問がありました。国ではシェルターや相談センターなどを設置する民間への支援の検討に入り、県は国の動向を注視するということですが、DV根絶に向け、県も主体的に民間事業者の支援を行うことを要望しました。

障害者雇用について

障害者雇用が低い現状にある事が話題となっています。今後、障害があっても同様に働ける環境を作る必要があります。その為に、どのような取り組みをしていくのか質問しました。重度の障害を持つ二人が国会議員となり、注目を集めています。交通や社内のバリアフリー化の遅れ、通勤や通学には介助費用が助成されない等の問題も山積しています。いかなる障害・病気があっても尊厳と楽しみを持ち人生を全うできる社会実現が求められるのです。障がいのある人も安心して暮らし、就労できる社会を実現させます。

千葉県議会9月定例会の予定

9/13 開会 9/20-30 一般質問 10/2-7 常任委員会 10/10 閉会